

**LACOSTE** 

**LACOSTE WATCHES**  
ご使用方法、お手入れとメンテナンス、保証とサービスについて

# LACOSTE WATCHES

ラコステはスポーツ ファッション市場で独自の伝統を築いています。機能および細部に細心の注意を払って製造された防水仕様のラコステ ウォッチコレクションは、ラコステのスタイルと、世界で最も知られているブランドのロゴであるクロコダイルのトレードマークを反映するシンプルでエレガントなデザインを実現しています。

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

## 目次

### ご使用方法

- (1) 2 針・3 針モデル
- (2) 日付／曜日付モデル
- (3) デュアルタイム モデル - GMT 24 時間針および分針付き
- (4) マルチ・アイ モデル タイプ A - プッシュボタンなし 24 時間針付き／なし、日付／曜日付き
- (5) マルチ・アイ モデル タイプ B - プッシュボタン付き 24 時間針付き／なし、日付／曜日付き
- (6) アナログ クロノグラフ タイプ A - 曜日／日付／ 24 時間針付き
- (7) アナログ クロノグラフ タイプ B - クロノグラフ 1/10 秒
- (8) アナログ クロノグラフ タイプ C - 30 分カウンターおよび日付表示付きクロノグラフ
- (9) デジタル多機能モデル - 10 桁 LCD ディスプレイ付き
- (10) 特殊機構
  - ねじ込み式リユーズ
  - メッシュプレスレット スライディング クラスプ
  - ソーラー ムーブメント

### お手入れとメンテナンス

### 保証

### サービスの利用

## (1) 2針・3針モデル



図 A



図 B



図 C

説明

### リューズの位置：

1 の位置 - 通常的位置。リューズがケースに押し込まれた状態。

2 の位置 - 時刻合わせ：リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

**備考：**分針を調整する際は、希望の時刻より 4、5 分進めてから分針を戻して正確な時刻に合わせます。

**電池切れ予告機能：**電池切れが近づくと、秒針は通常の 1 秒間隔ではなく、2 秒間隔で進みます。そのような場合は、電池をできるだけ速やかに新しいものと交換してください。秒針が 2 秒間隔で進んでいる場合でも時計の精度は保たれています。

### 1、2 - リューズの位置

H - 時針 (\* ダイヤルの下に回転アワーディスクを配置)

M - 分針

S - 秒針

LACOSTE 

## (2) 日付／曜日付モデル

**電池切れ予告機能：**電池切れが近づくと、秒針は通常の1秒間隔ではなく、2秒間隔で進みます。そのような場合は、電池をできるだけ速やかに新しいものと交換してください。秒針が2秒間隔で進んでいる場合でも時計の精度は保たれています。



### 1、2、3 - リューズの位置

- H - 時針
- M - 分針
- S - 秒針
- K - 日付表示窓
- E - 曜日表示窓

### リューズの位置：

- 1の位置 - 通常的位置。リューズがケースに押し込まれた状態。
- 2の位置 - 日付合わせ：リューズを時計回りに回します。  
備考：曜日／日付表示付きモデルの場合  
日付を調整するにはリューズを時計回りに、曜日を調整するにはリューズを反時計回りに回します。
- 3の位置 - 時刻合わせ：リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

**注意：**午後9時から午前3時の間は日付の調整を行わないでください。その間に日付の調整を行うと、カレンダーメカニズムを損傷するおそれがあります。

**備考：**日付合わせ中でも、時計の機能には影響がありません。時計が動いていると、午後9時から午前3時の間に日付が少しずつ変わります。

### (3) デュアルタイム モデル

GMT 24 時間針および分針付き



図 A

説明

#### 1、2 - リューズの位置

- A - デュアルタイム時間設定用プッシュボタン
- B - デュアルタイム分設定用プッシュボタン
- H - 時針
- M - 分針
- S - 秒針
- F - デュアルタイム時針 (24 時間)
- L - デュアルタイム分針

#### リューズの位置：

- 1 の位置 - 通常的位置。リューズがケースに押し込まれた状態。
- 2 の位置 - 時刻合わせ：時刻の設定およびデュアルタイムの即時修正。

ローカルタイムは時針 H、分針 M および秒針 S で表示され、デュアルタイム針がデュアルタイムの時間と分を表示します。

電池交換後、時刻設定前にはデュアルタイム時針とデュアルタイム分針が「0」（12 時位置）になっていることを確認してください。デュアルタイム時針またはデュアルタイム分針いずれか、あるいは両方が「0」位置でない場合は、次の手順にしたがって再設定してください。

1. リューズを 2 の位置に引き出します。
2. プッシュボタン A と B を同時に 2 秒間以上押してから離します（デュアルタイム針が動き、元の位置に戻ります）。
3. プッシュボタン A または B を押してデュアルタイム針を「0」位置に再設定します。  
プッシュボタン A：デュアルタイム時針は時計回りに動きます。  
プッシュボタン B：デュアルタイム分針は時計回りに動きます。  
デュアルタイム針はそれぞれのプッシュボタンを押し続けると連続的に動きます。
4. リューズを 1 の位置に押し込みます。

#### ローカルタイムの設定：

1. リューズを 2 の位置に引き出します。時計が停止します。
2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を希望の時刻に合わせます。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい時刻の設定が完了します。

#### デュアルタイムの設定：

1. 1 の位置のリューズで操作します。
2. プッシュボタン A を押して（1 回押すと 1 時間戻ります）デュアルタイム時針 F を戻すか、プッシュボタン B を押して（1 回押すと 1 時間進みます）デュアルタイム時針を進めます。
3. 秒針 S が 12 時位置にきたら、リューズを 2 の位置に引き出します。
4. プッシュボタン A を押して（1 回押すと 1 時間戻ります）デュアルタイム分針 L を戻すか、プッシュボタン B を押して（1 回押すと 1 時間進みます）デュアルタイム分針を進めます。
5. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい時刻の設定が完了します。

## (4) マルチ・アイ モデル - タイプ A

プッシュボタンなし 24 時間針付き／なし、日付／曜日付き



図 A

3. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を希望の時刻に合わせます。24 時間針 J は時針に合わせて動きます。分針を調整する際は、希望の時刻より 4、5 分進めてから分針を戻して正確な時刻に合わせます。
4. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい時刻の設定が完了します。

### 日付合わせ：

1. リューズを 2 の位置に引き出します。
2. リューズを反時計回りに回して日付表示針を設定します。午後 9 時から午前 2 時の間は日付表示針の設定を行わないでください。日付表示針はリューズを時計回りに回しても戻りません。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい日付の設定が完了します。

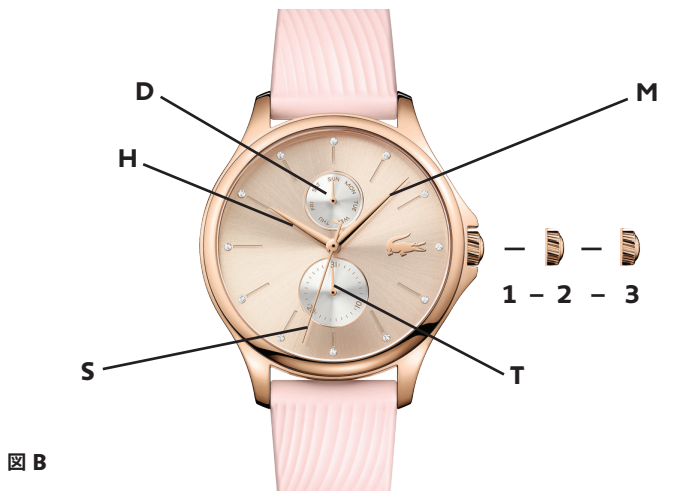


図 B

説明

### 1、2、3 - リューズの位置

- H - 時針
- M - 分針
- S - 秒針
- J - 24 時間針
- T - 日付表示針
- D - 曜日表示針

### リューズの位置：

- 1 の位置 - 通常の位置。リューズがケースに押し込まれた状態。
- 2 の位置 - 日付合わせ：リューズを時計回りに回します。
- 3 の位置 - 時刻合わせ：リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

### 時刻合わせ：

1. 秒針 S が 12 時位置にきたら、リューズを 3 の位置に引き出します。時計が停止します。
2. リューズを時計回りに回し、時針と分針を進めて曜日表示針を希望の曜日に合わせます（曜日付きモデルの場合）。曜日表示針はリューズを反時計回りに回しても戻りません。

## (5) マルチ・アイ モデル - タイプ B

プッシュボタン付き 24 時間針付き / なし、日付 / 曜日付き



図 A



図 B

説明

### 1、2 - リューズの位置

- A - 曜日設定用プッシュボタン
- B - 日付設定用プッシュボタン
- H - 時針
- M - 分針
- S - 秒針
- T - 日付表示針
- J - 24 時間針
- D - 曜日表示針

### リューズの位置：

- 1 の位置 - 通常的位置。リューズがケースに押し込まれた状態。
- 2 の位置 - 時刻合わせ：リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

### 時刻合わせ：

1. 秒針が 12 時位置にきたら、リューズを 2 の位置に引き出します。時計が停止します。
2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を希望の時刻に合わせます。この際、午前と午後を間違えないように注意してください。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。

### 曜日合わせおよび日付合わせ：

1. プッシュボタン A を押して曜日を設定します。1 回押して離すたびに曜日表示針は 1 日進みます。
2. プッシュボタン B を押して日付を設定します。1 回押して離すたびに日付表示針は 1 日進みます。

**重要：**自動日付変更が作動中の午後 9 時から午前 4 時の間は日付の調整を行わないでください。その間に日付の調整を行うと、カレンダーメカニズムを損傷するおそれがあります。

3. 月末が 31 日未満の月の場合、日付の調整を行う必要があります。

## (6) アナログ クロノグラフ - タイプ A

曜日/日付/24時間針付き



図 A

説明

### 1, 2, 3 - リューズの位置

ボタン A - スタート/ストップ

ボタン B - リセット

H - 時針

M - 分針

S - 秒針

P - クロノグラフ分カウンター

Q - クロノグラフ秒カウンター

F - 24 時間針

日付機能は 3 の位置のリューズでのみ操作可能です。

### リューズの位置：

1 の位置 - 通常的位置。リューズがケースに押し込まれた状態。

2 の位置 - 時刻合わせ：日付機能なしの場合。

日付合わせ：日付機能付き。

3 の位置 - 時刻合わせ：日付機能付き。

計測時間はセンターの針とは独立しているクロノグラフ針で表示されます。

クロノグラフは最長 60 分までの時間を計測できます。

### 時刻合わせ：

1. 秒針が 12 時位置にきたら、リューズを 2 の位置に引き出します。時計が停止します。

2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を希望の時刻に合わせます。

\* 日付機能付きモデルの場合は、午前と午後を間違わないようにしてください。

\* クロノグラフ針が動いてしまうので、プッシュボタンは押さないでください。

3. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい時刻の設定が完了します。

### 日付合わせ（日付機能付きの場合）：

日付表示窓付きモデルの場合、リューズは 3 段階式です。

2 の位置は日付合わせに使用します。

1. リューズを 2 の位置に引き出します。

2. リューズを時計回りに回して正しい日付を表示させます。

リューズの 3 の位置は時刻合わせに使用します（操作は上記の通り）。

### シンプルなクロノグラフ機能：

1 つの連続した出来事の時間計測（最長 60 分まで）：

1. プッシュボタン A を押してクロノグラフをスタートさせます。
2. プッシュボタン A をもう一度押してクロノグラフをストップさせます。
3. プッシュボタン B を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

### 積算時間計測：

1. プッシュボタン A を押してクロノグラフをスタートさせます。
2. プッシュボタン A を押して時間計測のタイミングでクロノグラフをストップさせます。
3. プッシュボタン A を押してクロノグラフを再スタートさせます。
4. ステップ 2 と 3 を相応の回数、繰り返します。
5. 時間計測が終わったら、プッシュボタン B を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

### 分割時間計測：

1. プッシュボタン A を押してクロノグラフをスタートさせます。
2. プッシュボタン B を押して一時的にクロノグラフをストップさせ、中間または分割時間を読み取ります。
3. プッシュボタン B を押してクロノグラフを再スタートさせます。クロノグラフ針が瞬時にスタート時から経過した時間に追いつきます。
4. 2 と 3 のステップを繰り返し、相応の回数、中間または分割時間を計測します。
5. プッシュボタン A を押して時間計測のタイミングでクロノグラフをストップさせます。
6. プッシュボタン B を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。



## (7) アナログ クロノグラフ - タイプ B

クロノグラフ 1/10 秒



図 A



図 B

説明

### 1, 2, 3 - リューズの位置

ボタン A - スタート/ストップ

ボタン B - リセット

H - 時針

M - 分針

S - 秒針

P - クロノグラフ分針

Q - クロノグラフ秒針

X - クロノグラフ 1/10 秒クロノグラフ針

### リューズの位置：

1 の位置 - 通常的位置。リューズがケースに押し込まれた状態。

2 の位置 - 時刻合わせ：日付機能なしの場合。

日付合わせ：日付機能付き。

3 の位置 - 時刻合わせ：日付機能付き。

計測時間はセンターの針とは独立しているクロノグラフ針で表示されます。

クロノグラフは最長 60 分までの時間を計測できます。

このクロノグラフは 1/10 秒刻みで時間を計測します。

### 時刻合わせ：

1. 秒針が 12 時位置にきたら、リューズを 2 の位置に引き出します。時計が停止します。
2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を希望の時刻に合わせます。日付機能付きモデルの場合は、午前と午後を間違えないようにしてください。クロノグラフ針が動いてしまうので、プッシュボタンは押さないでください。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい時刻の設定が完了します。

### 日付合わせ (日付機能付きの場合)：

日付表示窓付きモデルの場合、リューズは 3 段階式です。2 の位置は日付合わせに使用します。

1. リューズを 2 の位置に引き出します。
2. リューズを時計回りに回して正しい日付を表示させます。

リューズの 3 の位置は時刻合わせに使用します (操作は上記の通り)。

### シンプルなクロノグラフ機能：

1 つの連続した出来事の時間計測 (最長 60 分まで)：

1. プッシュボタン A を押してクロノグラフをスタートさせます。
2. プッシュボタン A をもう一度押してクロノグラフをストップさせます。
3. プッシュボタン B を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

### 積算時間計測：

1. プッシュボタン A を押してクロノグラフをスタートさせます。
2. プッシュボタン A を押して時間計測のタイミングでクロノグラフをストップさせます。
3. プッシュボタン A を押してクロノグラフを再スタートさせます。
4. ステップ 2 と 3 を相応の回数、繰り返します。
5. 時間計測が終わったら、プッシュボタン B を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

### 分割時間計測：

1. プッシュボタン A を押してクロノグラフをスタートさせます。
2. プッシュボタン B を押して一時的にクロノグラフをストップさせ、中間または分割時間を読み取ります。
3. プッシュボタン B を押してクロノグラフを再スタートさせます。クロノグラフ針が瞬時にスタート時から経過した時間に追いつきます。
4. 2 と 3 のステップを繰り返し、相応の回数、中間または分割時間を計測します。
5. プッシュボタン A を押して時間計測のタイミングでクロノグラフをストップさせます。
6. プッシュボタン B を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

## (8) アナログ クロノグラフ - タイプ C

30 分カウンターおよび日付表示付きクロノグラフ



図 A

説明

### 1、2、3 - リューズの位置

ボタン A - スタート/ストップ

ボタン B - リセット

H - 時針

M - 分針

S - 秒針

P - クロノグラフ分針

K - 日付表示窓

### リューズの位置：

1 の位置 - 通常の状態。リューズがケースに押し込まれた状態。

2 の位置 - 日付合わせ：リューズを時計回りに回します。

3 の位置 - 時刻合わせ：リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

### 時刻合わせ：

1. リューズを 3 の位置に引き出します。時計が停止します。

2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を希望の時刻に合わせます。

3. リューズを 1 の位置に押し込みます。

### 日付合わせ：

1. リューズを 2 の位置に引き出します。

2. リューズを時計回りに回して正しい日付を表示させます。

重要：自動日付変更が作動中の午後 9 時から午前 3 時の間は日付の調整を行わないでください。その間に日付の調整を行うと、カレンダー メカニズムを損傷するおそれがあります。

3. リューズを 1 の位置に押し込みます。

### クロノグラフ機能：

備考：連続して 2 時間作動させると、クロノグラフは自動的にストップ、リセットされ、電池の消費を節約します。

### 積算時間計測：

途中で何度か中断される出来事の合計時間の計測：

1. プッシュボタン A を押してクロノグラフをスタートさせます。

2. プッシュボタン A を押してクロノグラフをストップさせ、経過時間を読み取ります。

3. プッシュボタン A を押して時間計測を再び始めます。

4. ステップ 2 と 3 を繰り返し、各経過時間を追加します。

備考：クロノグラフをストップさせるたびに、クロノグラフ針は積算時間を表示します。

5. 最終の読み取り後、プッシュボタン B を押してクロノグラフ針をリセットします。

### 分割時間計測：

進行中の出来事の中間時間の計測：

1. プッシュボタン A を押してクロノグラフをスタートさせます。

2. プッシュボタン B を押してクロノグラフをストップさせ、分割時間を読み取ります。

備考：内部のメカニズムは時間計測を続けています。

3. プッシュボタン B を押してクロノグラフを再スタートさせます。クロノグラフ針はスタート時から経過した時間に追いつきます。

4. ステップ 2 と 3 を繰り返し、分割時間を追加します。

5. プッシュボタン A を押してクロノグラフをストップさせます。

6. プッシュボタン B を押してクロノグラフ針をリセットします。

## (9) デジタル多機能モデル

10 桁 LCD ディスプレイ付き



図 A

説明

### A、B、C - 設定/操作ボタン

10 桁の LCD ディスプレイ付きのこれらのスポーティなデジタルモデルは、以下の特徴と機能を備えています。

- ・ 12 時間または 24 時間表示形式を選択可能
- ・ 月、日付、曜日付き自動カレンダー
- ・ デイリーアラームと 1 時間単位のチャイム
- ・ スプリット機能付き 1/100 秒クロノグラフ
- ・ EL (エレクトロルミネセンス) バックライト

### ご使用方法



図 1

備考: 任意のモードでボタン A を押すと、EL バックライトが 3 秒間作動します。

### リアルタイムモード

#### リアルタイムモードでの操作:

1. ボタン C を押して、12 時間と 24 時間の表示形式を切り替えます。

### アラームモード

#### アラームモードでの操作:

1. ボタン C を押して、アラーム (🔔) またはチャイム (🔔) を作動/作動停止します。
2. ボタン A を押して、時または分のフィールドを選択します。
3. ボタン C を押して、点滅している項目を調整します。
4. ボタン A を押して確定します。
5. ボタン B を押して、リアルタイムモードに戻します。

備考: 設定した時刻になると、アラームが 20 秒間鳴ります。任意のボタンを押すと、アラームチャイムが停止します。

### クロノグラフモード

#### クロノグラフモードでの操作:

1. クロノグラフの表示範囲は 23 時、59 分、59.99 秒です。
2. ボタン C を押して、計測時間を開始/停止します。
3. 停止したら、ボタン A を押してリセットします。
4. 計測中、ボタン A を押して、スプリット計測を開始します。
5. ボタン C を押して、スプリット計測を終了し、計測を停止します。  
ボタン A を押して計測をすべて表示し、再度ボタン A を押してリセットします。
6. 計測中にボタン B を押して、リアルタイムモードに戻します。  
バックグラウンドで計測が継続します。

#### 時刻設定モード:

時刻設定モードになると、秒フィールドが点滅し始めます。

1. ボタン A を押して、以下の順序で次の項目に進みます。

秒 > 分 > 時 > 12/24 時間表示形式 > 月 > 日 > 年



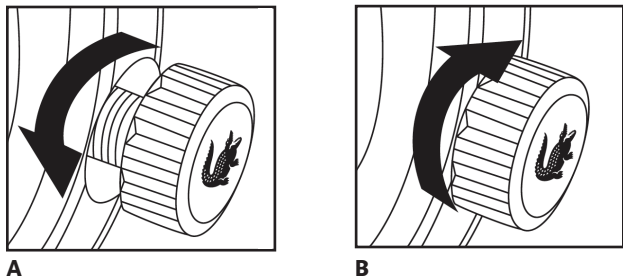
図 2

2. ボタン C を押して、点滅しているフィールドを調整します。

備考: 秒フィールドで、ボタン C を押すと、秒が 0 にリセットされます。秒フィールドのリセットが 30 秒を超えると、1 分単位で切り上げられます。

## (10) 特殊機構

### ねじ込み式リューズ



いくつかのモデルはケースの防水性を高める特殊なねじ込み式リューズを備えています。時刻または日付の設定の前には、まずリューズを反時計回りに回して（約6回）リューズを緩め、ねじ込み式リューズのロックを解除する必要があります。標準的なリューズの場合は、ロック解除の必要はありません。

**A.** リューズのロック解除：

リューズを反時計回り（左）に回してリューズのねじ込みを解除します。

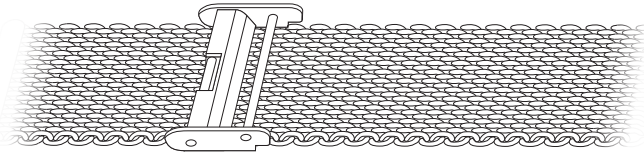
**B.** 時刻／日付合わせ後のリューズの再ロック：

リューズを時計回り（右）に回してリューズを押し込み、しっかり締め直します。

## (10) 特殊機構

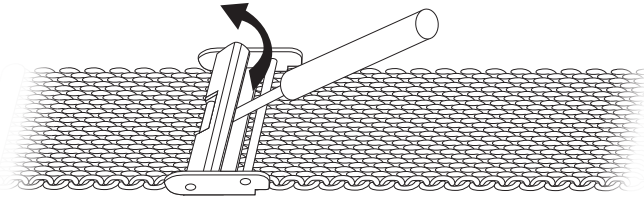
### メッシュ プレスレット スライディング クラスプ

特定のモデルのメッシュ プレスレットには、クラスプのピンバー ハーフをちょうどよいフィット感になるまでメッシュ プレスレットに沿ってスライドさせてメッシュ プレスレットのサイズ調整が行えるフッキング ジュエリー クラスプが付いています。

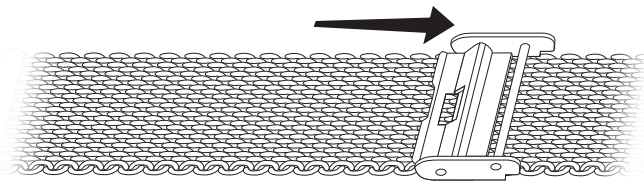


上図：所定の位置に固定されたスライディング クラスプのピンバー ハーフ付きメッシュ プレスレット側を開きます。

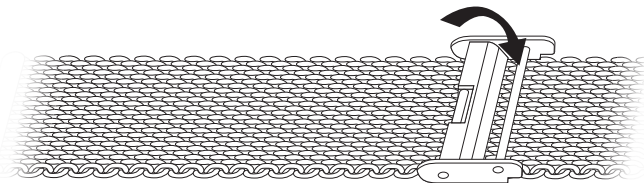
メッシュ プレスレットのサイズ調整：



1. 小型のマイナスドライバーなどでクラスプのピンバー ハーフのメタル プレートを開き、クラスプ位置固定メカニズムをリリースします。



2. クラスプのピンバー ハーフをメッシュ プレスレットに沿って、いずれかの方向にスライドさせて希望の位置にします。



3. メタル プレートを開いてクラスプのピンバー ハーフをメッシュ プレスレット上の新しい位置に固定します。

## (10) 特殊機構

### ソーラームーブメント

#### ソーラー駆動時計

お買い上げの時計はダイヤルの下にあらゆる光を電気エネルギーに変換し、動力を補助バッテリーに蓄積するソーラーセルを備えています。

#### 電池交換

従来のクォーツウォッチとは異なり、お買い上げの時計は酸化銀電池を使用しないので、電池交換の必要はありません。

#### 作動時間

フル充電から停止までの予測される作動時間は約4ヶ月です(その間、光を一切当てないと仮定する)。

#### 電池切れ予告機能

電池切れが近づくと、秒針は2秒間隔で進みます。  
そこから時計は約2週間動き続けます。

#### 警告

使用する時計に専用の充電式セル以外のバッテリーを使用しないでください。充電式セルを時計から取り外さないでください。充電式セルを普通ごみと一緒に廃棄しないでください。バッテリーの回収については、お住まいの地域の指示に従ってください。  
時計を高温にさらさないでください。

#### 充電時間の指示ガイダンス

光の供給 (Lx)	光源	環境	フル充電 (およその時間)	定常作動 (およその時間)	1日分の動力 (およその分)
700	蛍光灯	室内	-	18	69
3000	蛍光灯	30W 20cm	52	4	15
10000	日光	曇天	16	1.5	5
100000	日光	晴天	5.3	0.5	2

#### バッテリーの表示および持続時間

プッシュボタン B を 1 秒以上押すと、2 秒後に針は自動的に回転します。

バッテリー レベル	パワーリザーブ
高(イエロー)	90 日以上
中(オレンジ)	30 ~ 90 日
低(レッド)	30 日以下

## お手入れとメンテナンス

ラコステ ウォッチは品質、機能および細部に細心の注意を払って製造されています。お買い上げの時計の特徴、正しいお手入れおよび操作について、次の情報と手順を注意深くお読みください。サービスや修理の詳細については、「サービスおよび保証」のセクションをご参照ください。

時計をご自分で開けないでください。時計の修理または調整が必要な場合は、時計を直接、認定サービスセンターにご持参いただくか、またはお送りください。世界中のサービスセンターのリストについては、[www.mgiservice.com](http://www.mgiservice.com) にアクセスして情報をご確認ください。

### 衝撃

当社のすべての時計は国際規格に適合する耐衝撃性を備えたムーブメントを使用しています。

### 磁気

時計を強い磁気にさらすと、時計の機能に影響を与え、時計が停止することがあります。クォーツ時計は磁気から離れると、元の精度で動き始めるはずですが、自動巻きまたは手巻きの時計は消磁が必要となる場合があります。

### 防水性

当社のすべての時計は国際規格に適合し、少なくとも 3 気圧 / 30 メートル / 99 フィートまでの防水仕様です。したがってケース、リューズおよびクリスタルが無傷である限り、洗顔による水滴や小雨によって損傷を受けることはありません。50M / 5ATM / 165 feet 防水とマークされた時計は、シャワーや水泳時に着用することはできますが、スキューバダイビング時には着用できません。

注意：時計のリューズ、あるいはクロノグラフまたは多機能モデルのプッシュボタンを水中で操作しないでください。水中で操作すると、防水性が保てなくなります。

防水性は時計のケースにのみ適用されています。いくつかの時計のストラップは水中で着用したり、水に濡らしたりしないでください。ストラップのお手入れをご参照ください。

時計を急激で極端な温度変化にさらさないでください。

時計を落下させたり、硬いものにぶつけないでください。強い衝撃を受けた場合は、防水性を再点検する必要があります。

プールや海で使用した後は、真水で湿らせた柔らかい布で時計を丁寧に拭いてください。

その他の注意事項：

ねじ込み式リューズを備えた時計の場合は、あらゆる操作後にリューズがケースにねじ込まれていることを確認してください。

### ストラップのお手入れ

時計のストラップの寿命は、お手入れ、着用状態、さらにお住まいの地域の気候に左右されますが、正しいお手入れをすることによって、その寿命を延ばすことが可能です。

レザーストラップは乾燥した状態に保ってください。水に濡らすと、レザーストラップは劣化したり、場合によると破損することがあります。レザーの仕上げを保護するには、香水との接触を避けてください。プールや海で使用した後は、真水で湿らせた柔らかい布でレザーストラップを丁寧に拭き、乾かしてください。

シリコンまたはラバーストラップの自然な弾力性と品質を保護するには、海水、化学物質または研磨性物質と接触した後は、真水で湿らせた柔らかい布ですすいでください。

温かい中性の石鹸水で湿らせた柔らかい布でホワイト シリコンまたはラバーストラップを丁寧に拭いた後、温水で湿らせた 2 枚目の布で拭いて、温かい流水で丁寧にすすいでください。アセトンやエチルアルコールと接触させないでください。

備考：時計のストラップは保証の対象とはなりません。

### 電池について

クォーツ アナログ ウォッチまたはクロノグラフには専用に設計された電池が付いています。電池寿命は通常およそ 18 ヶ月から 36 ヶ月です。

備考：クロノグラフ モデルのストップウォッチ機能などの特殊機能を頻繁に使用すると、電池寿命が短くなる場合があります。

## お手入れとメンテナンス

**電池切れ予告機能：**多くのモデルでは、電池の寿命が近づくと、秒針が 2 秒または 4 秒間隔で進み、電池を交換するよう知らせてくれます。

**電池交換：**電池交換の際には、時計を認定サービスセンターにご持参いただくか、またはお送りください。古い電池は適切に廃棄またはリサイクルされます。決してご自分で電池交換をなさらないでください。

### 寿命の尽きたクォーツ ウォッチの回収と廃棄\*



本製品は家庭ゴミと一緒に廃棄することはできません。環境と人々の健康を保護するため、本製品は地域の認定回収センターに託し、適切にリサイクルする必要があります。

\*EU 加盟国および相応の法律のある国において有効。



## 保証について

### 保証について

ラコステ ウォッチはデザイン的に美しいだけでなく、高精度と信頼性の高い性能をもたらす上質な素材と部品を使用して製造されています。当社では販売しているすべてのラコステ ウォッチに誇りを持っています。

#### Lacoste Watches 限定保証

Lacoste Watches はお客様に対し、通常使用下での時計の正常な機能を妨げるお買い上げの時計の素材および製造上の欠陥について、ご購入日から2年間の保証を適用します。

本保証が対象とする欠陥についての当社の責任は、修理または（Lacoste Watches の自由裁量のみにおいて）無償での欠陥のある時計の交換に限られています。

電池、ストラップ、プレスレット、クリスタル、ゴールドプレートまたは電解プレートまたは PVD コーティング、すり傷、通常の磨耗、亀裂といった外観上の問題、事故、誤った使用、あらゆる変質に由来する損傷、Lacoste Watches 認定サービスセンター以外の第三者によるサービスまたは修理による結果は本保証の対象とはなりません。

本保証は、有効な購入証明（販売店名、ラコステ ウォッチの識別番号を示す日付の付いた販売またはギフトのレシート）によって証明される Lacoste Watches 認定販売店での購入以外の方法で購入された時計には適用されません。

販売店が提供するその他の保証については、販売店がその責任を負います。本保証の条件を変更することはいかなる個人または企業にも許可されていません。本保証は消費者としての特定の法的権利を付与します。お客様の法的権利は国ごとまたは州ごとに異なる場合があります。しかしながら、適用法が許可する範囲で、本限定保証は口頭による、書面によるを問わず、法的、明示的、あるいは暗黙的な他のあらゆる保証（制限なく市場性に関する保証、特定目的適合性を含む）に独占的に代わるものとして適用され、他のあらゆる保証は明確に無効となります。

## サービスの利用

### 保証条件下

保証サービスが必要な場合は、時計を適切に梱包し（下記を参照）、(1) 販売レシートの原本 (2) Lacoste Watches サービス リクエスト フォームのコピーを添付して最寄りの Lacoste Watches サービスセンターにお送りください。認定サービスセンターのリストは当社のウェブサイトでご確認いただけます。Lacoste Watches サービス ホームページに戻り、「保証とサービスについて」のリンクをクリックしてください。

### 保証条件外

Lacoste Watches サービスセンターは Lacoste Watches 保証の対象ではない修理、保証期間が終了した後のサービスも実施します。時計の部品が必要な場合・保証条件下で対象となっていないサービスが必要な場合は、作業をお引き受けする前にお客様の承認とお支払いのための見積り書を送付します。このファイルのフォームをコピーして使用してください。

### 電池交換

Lacoste Watches サービスセンターはラコステ ウォッチの電池交換も有償で行います。

### 時計の梱包

時計は衝撃から保護できるよう詰め物をした梱包材で必ず梱包してください。必要事項を記入した Lacoste Watches サービス リクエスト フォームのコピーを必ず添付してください。

### 時計についての保険

書留の郵便を使用し、時計に同等金額の保険をかけることをお勧めします。

### 追加情報

製品とともに送付される、販売店名、ラコステ ウォッチの識別番号を示すオリジナルの日付の付いた購入またはギフトのレシートのないすべての修理は課金され、修理は保証条件の対象となります。

認定サービスセンターの場所を確認するには、[www.mgiservice.com/lacoste](http://www.mgiservice.com/lacoste) のリンクをクリックしてください。

## サービスの利用

### LACOSTE WATCHES サービス リクエスト フォーム A

氏名 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

市区町村 \_\_\_\_\_

都道府県 \_\_\_\_\_ 国 \_\_\_\_\_ ZIP/ 郵便コード \_\_\_\_\_

E メール \_\_\_\_\_ 電話 ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

ウォッチ モデル \_\_\_\_\_

サービス、交換または修理を必要とする内容： \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

### LACOSTE WATCHES US/CANADA サービス リクエスト フォーム B

アメリカまたはカナダの LACW サービスセンターへ送付されるあらゆるサービス リクエストを含む

アイテム	価格	合計
電池	\$35.00 USD/ \$35.00 CAD	\$ _____
発送費 & 手数料	\$15.00 USD/ \$15.00 CAD	\$15.00 USD または \$15.00 CAD
合計：		\$ _____

#### 支払い方法：

\_\_\_\_\_ 小切手または現金

\_\_\_\_\_ MasterCard

\_\_\_\_\_ Visa

アカウント名： \_\_\_\_\_

有効期限： \_\_\_\_\_

署名： \_\_\_\_\_

(クレジットカード支払いの場合、必須)

## クォーツアナログ/デジタルクロノグラフモデル アラーム機能付き



図A

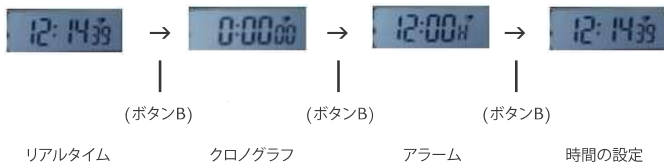
凡例

H - アナログ時間針  
M - アナログ分針  
S - アナログ秒針

E - デジタル表示  
K - アラームオン表示

A - リセットボタン  
B - モード選択ボタン  
C - ELバックライトボタン  
D - 開始/停止ボタン

1, 2 - リュウズの位置



このアナログデジタルクロノグラフは、アナログの時間針、分針、秒針、12時間形式または24時間形式のカレンダー/リアルタイム付きの6桁の液晶デジタル表示（時間、分、秒、月、日）、アラームとスヌーズ機能、1/100 クロノグラフスプリットタイム機能、ELバックライトを備えています。これらは23時間59分と59.99秒までの事象の経過時間を最も近い0.01秒まで計測するのに使用できます。

### モードを選択するには:

ボタンBを押して、次の順序でモードを移動します:  
リアルタイム → クロノグラフ → アラーム → 時間の設定 → リアルタイム。

**ELバックライトを使用するには:** いつでもボタンCを押して文字盤を3秒間照らし、暗いところでデジタル表示を読みとることができます。

### リアルタイムモードから:

ボタンAを押して、アラームの設定を表示します。

ボタンDを押して日付を表示します。

ボタンAとDを同時に押してアラームをオンまたはオフにします。

アラームがオンになると、デジタル表示の右上に小さなベルのシンボル [🔔] が表示されます。

### 時間の設定

#### デジタルの時間を設定するには:

1. ボタンBを3回押して時間の設定モードにします。秒の表示が点滅します。
2. ボタンDを押して、秒を00にリセットします。
3. ボタンAを使って、時間の設定を次の順に移動します。分 → 時間 → 日 → 月。現在の設定モードのアクティブなデジタルフィールドが点滅します。
4. ボタンDを押して、点滅している数字を調整します。
5. ボタンAを押して新しい設定を確定し、設定順の次のフィールドに進みます。
6. ステップ4と5を繰り返して時間の設定を完了します。

注意: 時間を設定するときに表示される“H”は24時間形式、“A”または“P”は12時間形式を示します。

12時間形式または24時間形式を選択するには、ボタンDを押したままにします: 時間の形式は、次の順に移動します: “A” (AM) 時間 → “P” (PM) 時間 → “H” (24H) 時間 → “A” (AM) 時間。

秒の表示が30から59までの間にDを押すと、秒が00にリセットされ、時間は次の分に設定されます。秒の表示が00から29までの間にDを押すと、分は変わりません。

#### アナログの時間を設定するには:

1. リュウズを2の位置に引き出します。
2. リュウズをいずれかの方向に回して希望する時間に針を合わせます。
3. リュウズを押して1の位置に戻してケースに寄せます。

### クロノグラフ

このモードでは、時計はストップウォッチのように機能して、最初の30分間最も近い0.01秒まで、30分から24時間まで最も近い1.0秒まで時間の間隔を計測します。

注意: クロノグラフが作動中にボタンBを押して、リアルタイムモードに戻すことができます。

#### クロノグラフを操作するには:

リアルタイムモードから、ボタンBを一度押してクロノグラフモードにして、ボタンDとAを押してクロノグラフを作動します。

#### 単一の連続している事象の持続時間を計測するには:

1. ボタンDを押して、時間の計測を開始します。
2. ボタンDをもう一度押して、計測を停止し、デジタル表示に示された経過時間を読みます。
3. ボタンAを押して、表示を0にリセットします。

#### 事象の進行中に中間時間またはスプレットタイムを計るには:

1. ボタンDを押して、時間の計測を開始します。
2. ボタンAを押して、デジタル表示に示される中間時間またはスプレットタイムを読みます。クロノグラフがバックグラウンドで事象の時間の計測を続けます。
3. ボタンAを押して事象の時間の計測を再開します。デジタル表示に、進行中の現在の時間が表示されます。
4. 希望に応じてステップ2と3を繰り返して、さらにスプリットタイムを計ります。
5. ボタンDを押して、事象の終わりに時間の計測を停止し、デジタル表示に示された最終時間を読みます。
6. ボタンAをもう一度押して、クロノグラフを0にリセットします。

注意: クロノグラフが作動中にボタンBを押して、リアルタイムモードに戻すことができます。クロノグラフがバックグラウンドで事象の時間の計測を続けます。

#### デイリーアラーム

##### アラームを設定するには:

1. リアルタイムモードで、ボタンBを2度押してアラームモードにします。時間が点滅します。
2. ボタンAを押してフィールドを切り替えて設定するフィールドを選択します: 時間または分。
3. ボタンDを押して、選択されたフィールドで点滅している数字を合わせます。
4. 点滅している表示に正しい数字が現れたら、ボタンAを押して設定を確定します。
5. アラームの設定が終わったら、ボタンBを押してリアルタイムモードに戻ります。

##### アラームを作動/作動停止させるには:

リアルタイムモードで、ボタンAとDを同時に押してアラームをオンまたはオフにします。アラームがオンになると、デジタル表示の右上に小さなベルのシンボル[🔔]が表示されます。

##### スヌーズ機能を使用するには:

アラームが鳴ったときにボタンAを押してアラーム音を停止し、ボタンDを押して、スヌーズ機能を作動/作動停止します。

スヌーズ機能をオンにすると、アラームが5分後に再び鳴ります。

ボタンを押さないと、1分後にアラームが自動的に停止します。